

International A/r/tography Seminar

国際アートグラフィーセミナー

ーカナダと日本のアートグラフィーによる共同実践研究ー

2019年11月13日（水）14:30～17:40

要・事前申し込み（通訳有）

東京学芸大学 中央講義棟（C棟）2階204号室

近年、国際的に大きな注目を集めるアートグラフィー（a/r/tography）は、芸術家（artist）/研究者（researcher）/教育者（teacher）という美術教育にかかわる多様な立ち位置や取り組みの「あいだ（in-between）」をつなぐ実践化と理論化の新しい動きです。この度、アートグラフィーを提唱するリタ・L・アーウィン教授を招き、アートグラフィーの国際的な取り組みや、カナダと日本で共同で取り組んでいる研究プロジェクトを紹介し、国際的な研究動向の中で美術教育のこれからを考えます。

- 14:30** 開会の挨拶 笠原広一 東京学芸大学准教授（司会）
- 14:10** 「Walking A/r/tography」
リタ・アーウィン ブリティッシュコロンビア大学教授
- 16:00** 休憩
- 16:10** 「Getting Lost While Sleep Walking」
マルジエ・モサバルザデ ブリティッシュコロンビア大学博士課程・東京学芸大学研究員
- 16:50** 「日本でのA/r/tographyとArts-Based Educational Researchの実践」
笠原広一 東京学芸大学准教授
森本謙 ブリティッシュコロンビア大学博士課程・東京学芸大学研究員
- 17:10** パネルディスカッション：「国際美術教育におけるA/R/T、その現状と未来」
リタ・アーウィン、笠原広一、マルジエ・モサバルザデ、森本謙
- 17:40** 終了



リタ・アーウィン (Rita L. Irwin)

ブリティッシュコロンビア大学教授 教育学博士（美術教育）

美術教育における教育養成、美術家による学校での教育プログラム、社会文化的问题等に取り組んでいる。近年、自己学習と協働的なコミュニティ実践をとおした美術制作による研究方法を想像力豊かに展開していくための先導的実践と研究で知られる。

問合せ・申し込み先

主催：東京学芸大学（美術科教育学分野）笠原広一研究室

kasahara(a)u-gakugei.ac.jp ※(a)をアットマークに変えてください。Tel & Fax: 042-329-7610

〒184-8501東京都小金井市貫井北町4-1-1

※本研究は、科研費基盤研究（B）Arts-Based Researchによる芸術を基盤とした探究型学習理論の構築（18H01010）代表：笠原広一、基盤研究（B）インクルーシブアート教育論及び視覚障害等のためのメディア教材・カリキュラムの開発（18H01007）代表：茂木一司、基盤研究（B）判断力養成としての美術教育の歴史的・哲学的・実践的研究（18H00622）代表：小松佳代子）、若手研究 共生社会の実現に向けた美術科教育の交流・共同・接続プログラムの開発（18K13160）代表：池田史志、SSHRC（890-2017-0006）“Mapping A/r/tography: Transnational storytelling across historical and cultural route of significance”(PI: Rita L. Irwin) との共同開催です。